

- 1) 豊田威信, 2010 : 海水過程のパラメタリゼーション —海水と波の相互作用の観点から—, 月刊海洋, 号外 No. 54, 82-93.
- 2) 藤吉康志、川島正行 (「分担」執筆), 2010 : 地球惑星科学入門, 北海道大学出版
- 3) 藤吉康志, 2010 : 雲科学のためのリモートセンシング, 光電技法, 26、2-5
- 4) 谷本陽一(分担執筆), 2010 : 大気・海洋相互作用とエル・ニーニョ, モンスーン, 「基礎地学」第 28 章, pp. 323-333, 北海道大学地学教科書編集委員会編, 北海道大学出版会
- 5) 谷本陽一, 2010 : 北太平洋亜熱帯モード水海域と大気, 海洋と生物, 32, 211-217.
- 6) 谷本陽一, 2010 : 中緯度西岸域における大気海洋相互作用, 日本気象学会 2010 年度秋季大気シンポジウム「大気圏のさまざまな境界面での相互作用」要旨集. 2-7.
- 7) 中野渡 拓也, 三寺 史夫, 本井 達夫, 大島 慶一郎, 石川 一郎, 2010 : 渦解像海洋大循環モデルで再現される北太平洋中層水の 50 年規模の低温化, 海と空, 85, 141-150
- 8) 大島慶一郎, 2010 : 海洋深層循環を駆動する南極底層水 —未知の底層水生成域を探る—, 自然と科学の情報誌「ミルシル」, 3(4), 9-11
- 9) 大島慶一郎, 羽角博康, 2010 : 総論 : 南大洋の深層水形成と海水過程, 月刊海洋, 号外 54, 5-10
- 10) 大島慶一郎, 深町康, 青木茂, 清水大輔, 田村岳史, 牛尾収輝, 橋田元, 北出裕二郎, 若土正暁, 2010 : 未知の南極底層水生成域の発見と今後の観測に向けて—ケーブダンレープロジェクト—, 月刊海洋, 号外 54, 12-20
- 11) 大島慶一郎, 中野渡拓也, Riser, S. G., 若土正暁, 2010 : オホーツク海・海氷域でのフロート観測, 月刊海洋, 42(11), 643-653
- 12) 北出裕二郎, 平野大輔, 大島慶一郎, 深町康, 2010 : 海鷹丸により観測されたケーブダンレー沖の南極底層水と海洋微細構造の特徴, 月刊海洋, 号外 54, 29-36
- 13) 田村岳史, 大島慶一郎, 2010 : SSM/I を用いた海氷生産量・熱塩フラックスのグローバルマッピング, 月刊海洋, 号外 54, 37-42
- 14) 二橋創平, 大島慶一郎, 2010 : 南極海における AMSR-E データを用いた薄氷厚推定アルゴリズムの開発と海氷生産量の見積もり, 月刊海洋, 号外 54, 43-51
- 15) 中村佳代・青木茂・豊田威信・青山雄一, 2010 : 南大洋における降雪の酸素安定同位体比の緯度分布と季節変化, 南極資料
- 16) 山崎孝治, 2010 : 北極振動とユーラシアの気候変動, 極圏・雪氷圏と地球環境、遠藤邦彦・山川修治・藁谷哲也編著、二宮書店、199-215
- 17) 山崎孝治、宇田川佑介, 2010 : 南極振動と ENSO, 極圏・雪氷圏と地球環境、遠藤邦彦・山川修治・藁谷哲也編著、二宮書店、216-219
- 18) 山崎孝治・稲津将, 2010 : 第 20 章 大気の運動の基礎, 地球惑星科学入門 (在田・竹下・見延・渡部編著)、237-246 北海道大学出版会
- 19) 藤原正智, 2010 : らせんのひとめぐり (小特集号「大気化学研究のさらなる発展へ向け

て」), 大気化学研究会ニュースレター, No. 23, 9-10, Summer 2010

20) 在田一則, 竹下徹, 見延庄士郎, 渡部重十(編著), (藤原: 第18章共同執筆), 2010:
地球惑星科学入門, 452 pp., 北海道大学出版会

21) 青木茂, 2010: 観測から見た南極底層水の変質と氷床融解の影響把握、月刊海洋